

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大学生と県内企業をつなぐ「大しごと一く in 信州 2021」の開催とオンラインと対面を併用したwithCOVID-19における学生との企業の「対話の場」の強化
事業主体 (連絡先)	信州大学 キャリア教育・サポートセンター センター長 林 靖人 電話番号 0263-37-3348 / E-mail career@shinshu-u.ac.jp
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,685,000 円 (うち支援金: 2,948,000 円)

事業内容

本事業は、信州大学をはじめとする県内大学生や高校生が、県内企業や地域を知る機会がなく進路選択をしている状況を改善し、低年次から地域企業を知る機会を持つことで人材の地域定着を促進する対話企画「大しごと一く in 信州 2021」を実施するものである。2021年は対面とオンラインを併用で11月6日9:00~16:00で開催した。企業・自治体58団体、そのうち、23団体はオンライン、33団体は対面で参加した。2021年は、午前中にオンラインで9つのテーマトークを開催。午後の対面会場では、「お見合い大作戦」と「プチ仕事体験」の仕掛けを設定し、トーク時間を確保し、対話を重視したイベントとして開催した。



【当日の様子】

【目標・ねらい】

- ①来場者数 1,000 名 (企業 80 団体、学生 20 団体)
- ②松本地域内の企業の参加率 22 社 (目標: 35 社)
- ③しごと一くを毎月開催を達成 (4 月~11 月)
- ④県内企業を知る機会に繋げる (認知度 4.4 倍)

事業効果

- ①ZOOMの参加カウントで315人の来場者(オンライン191名、対面124名)となり、目標に届かなかった。
- ②オンラインでの参加企業は、58社となった。松本地域内の参加企業は22社(34.4% 2020年度:36.1%)。参加者は、キャリア関連のゼミの受講生が71.6%(前年91%)で、自主参加12.6%(前年6%)と、自分の意志で参加した学生が増加した。また、SNS等の広報ツールからの参加もあり、信州にUターンを希望する県外大学の参加もあった。
- ③参加人数実績: 学生232名、社会人34名、企業21社、総勢266名
- ④とても満足している/ある程度満足していると回答した学生は計91.6%、同様に95.7%の企業がとても満足している/ある程度満足していると回答した。

※自己評価【A】

【理由】

来場者数の目標1,000名が達成できなかったが、Covid-19の影響がありながらも、今年是对面とオンラインを併用し、核としている対話時間の満足度が得られたことが成果だった。また、運営に学生が主体的に関わることで、参加企業の満足度も高い評価を得られた。

今後の取り組み

この対話の時間について、開催当初から試行錯誤をしてきた。2021年は、対面会場において、「お見合い大作戦」と「プチ仕事体験」の仕掛けを設定し、トーク時間を確保した。企業/学生双方の意見を聞きながら、「ちょうどよい」トーク時間の確保を目指し、プログラムや実施方法を検討した結果、回を重ねるたびに徐々にではあるが満足度の向上が見られた。また、対面会場の配置の工夫や、オンラインの場合には学生ファシリテーターが進行役を勤め、話を企業・学生の双方に振ることで、話しやすい雰囲気づくりに努めた。一方で、時間が短いという声もあった。この結果を、今後の企画に活かしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある